



# 議 会 報 告 第 17 号

(ホームページもご覧下さい <http://www.ojima-shinichi.com/>)

筑西市下野殿 801-1 TEL0296 (24) 8951

市議会議員 小島 信一

明政会

## 6 月定例会より 報告 (27 年第 2 回定例会)

27 年 7 月 5 日発行

### 新中核病院の行方 —— 予算が可決 ——

6 月定例会において、新中核病院関連予算が可決され計画は新たな段階に入りました。

総事業費 (用地取得費 2 億 5 千万円含む) . . . 75 億円  
27、28、29、30 年の 4 か年度にわたる事業。

これに先立ち、

基本構想、基本計画その他整備関連 . . . 3 億 3 千万円  
こちらは早々に執行される予定

\*\*\*\*\*

筑西・桜川地域公立病院等再編整備推進協議会が 2 回開催されました。

複雑な名前の協議会ですが、新中核病院建設において最重要組織です。これまでに了承された事項は

- ① 規模は 250 床 (病床数は大幅縮小)
- ② 建設場所：筑西幹線道路沿いの養蚕地区内
- ③ 経営は独立行政法人
- ④ 完成予定は平成 30 年 10 月

診療科と機能に関しては、4 疾病 4 事業が検討。

- ・ 4 疾病： がん、心疾患、脳疾患、糖尿病
- ・ 4 事業： 救急、災害、小児救急、在宅

—— 協議会のメンバーは ——

筑波大学病院長・日本医科大学常務理事・自治医科大学病院長・東京医科大学病院長・千葉大学大学院教授・城西大学教授・真壁医師会会長・筑西市民病院長・県西総合病院長・山王病院長・協和病院長・茨城県保健福祉部長・筑西桜川の両市長・両議長

—— 不測の事態 ——



- 資材高騰一部では 100 億を超える可能性
- 予定地の幹線道は用地取得が難航
- 経営主体の設立が難航  
具体的診療科、スタッフ確保活動の遅れ

### 新布陣—初定例会 . . . 活発審議

選挙後の新議長、新委員長のもとでの初定例会でした。また、昨年成立した「議会基本条例」施行後初ということも重なり活発な議会運営が行われました。

#### —— 3 常任委員会が各期日に開催 ——

これまでは、3 常任委員会は同日同時間に開かれていましたので、議員は他の委員会を傍聴できませんでした。また、非公開だったものが公開となり、各方面の人が傍聴に訪れました。

#### —— 総務企画委員会の傍聴席が満席 ——

重要議案が担当となった総務企画委員会の傍聴人が予想より多く、傍聴席を急きょ増設するハプニング。他の委員会の議員がほとんど傍聴するという、これまでにない事態。審議の質が上がります。

### 一般会計補正予算成立

- ・ 新中核病院関連 . . . . . (冒頭のとおり)
- ・ 社会保障・税番号制度関連予算 . . 5800 万円

いわゆるマイナンバー制度が始まります。市町村が窓口となり、番号管理やカードの交付手続きを担当します。この予算はほぼ全額、国費で賄われます。—— 安全性の確保 —— 情報漏洩防止への配慮は当然です。国を挙げて取り組むべきです。

### 人事案件 4 件可決

- |         |           |      |    |
|---------|-----------|------|----|
| 教育委員会委員 | 塚本真実氏     | 任期満了 | 再任 |
| 監査委員    | 議員 椋 堀江健一 | 議員   | 選任 |
| 公平委員会委員 | 篠崎和子氏     | 任期満了 | 再任 |
| 人権擁護委員  | 菊地富寿氏     | 任期満了 | 再任 |

——定例会の話題——

◎スピカビル本庁舎改修工事入札不調

予定価格13億8千万円で公募しましたが、応札は1組のみ（大手ゼネコンと地元業者のJV）で入札価格が16億5千万円。予定価格は公表されているのでこれを上回る入札は異例。一般質問でも取り上げられ、市長は「原因を究明中だが、業者の圧力には屈しない」と強気の言。しかし、有効入札がなかったということは設計価格に無理があったのではないかと？

◎議員定数削減案は 一転取り下げ

一部の議員グループが議会運営委員会に、議員定数に関する条例改正案を提出してありましたが、最終日、一転取り下げとなりました。

・・・パフォーマンスは問題・・・

3月定例会においても最終日に提出され否決された議案ですが本気で議論するのであれば議員定数検討特別委員会の設置からやるべきです。騒ぐだけではパフォーマンスと受取られても仕方ありません。

◎議員報酬改正

筑西市議会議員の月額報酬は31万2千円。県内32市の平均月額が37万1千円。

市民各層からなる報酬審議会が1割程度の増額が妥当との答申があり、今定例会に議案提出されました。

・・・筑西市は合併当時から抑制的・・・

1市3町の合併当時議員報酬を31万2千円と決めましたが、それは市・町間で違っていた報酬額を統一する際、77人の議員報酬総額を合併前と同じにするための額です。下館市議会議員報酬は2割引き下げたそうです。その後議員数が削減され24名となりましたが報酬額は据え置かれてきました。人口半分以下の下妻市が37万円、結城市が36万1千円。議員報酬に関しては筑西市は抑制的です。

◎養蚕小、関城西小の耐震工事が承認

3.11震災後、急ピッチで進められてきた学校の耐震補強工事が最終局面となりました。養蚕・1億7千万円、関城西・2億7千万円で落札。

一般質問



——新市街地創設で魅力増進——

小島質問：筑西市の突出した人口減少の主な原因をどうとらえているか。

市長答弁：大学進学者の就職、20代30代の転職。結果として若者世代の転出超過が原因と思われる。出生率の低下も拍車をかけている。

質問：出生率については別の機会に議論したい。若者世代の転出について。私の調査では隣接市への転出者も多く、また市内で働く他市の住民も多い。この若者を筑西市に居住してもらうには魅力的なまちづくりが必要ですが市長の考えは？

答弁：住民サービスの向上、住環境整備等、真剣に考えていきたい。

質問：魅力あるまちづくりという視点から、新たな市街地の創設も重要。今年度完成する筑西幹線道路の駅南部分の沿道開発は若者や企業を引き付けるのでは？

答弁：そのとおりですが田園都市ゾーンとなっており開発は難しい。

質問：マスタープランでは複合産業地区となっており開発を進める具体的な将来像があるべきでは？

答弁：私個人としては駅南開発は賛成です。土地利用に関して制約があるが前向きに検討したい。

——道の駅が成功するために——

小島質問：道の駅が地方創生の拠点として期待されています。しかし議会としては運営の健全性を質さなければなりません。運営主体はどこですか？

企画部長答弁：今後策定する基本構想基本計画の中で検討していく。自立性がありニーズに柔軟に対応できるもっとも適切な管理運営の形態を検討している。

質問：筑西市の道の駅は財政支援しながらの運営を想定していますか

答弁：財政支援は想定していない。

質問：国の交付金がある道の駅は過剰投資になりやすく運営上高経費体質にもなりやすい。運営主体が計画段階から参加できれば効率的な施設の配置、建物設計になると思うが？

答弁：経営形態をなるべく早く決定し、早い段階から計画にかかわっていただくことを考えている。

道の駅下妻は第3セクター運営。オープン16年目でリニューアル。財源4億円は市の負担。11年目から財政支援。道の駅二宮は民間企業が運営。物産館の運営には市の財政負担なし。オープン19年目の今も黒字経営で右肩上がり。